

毎週日曜発行
2025 2/2

こども新聞 週刊がほピョンプレス

がほピョンプレス



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

みんな 子ども だった!?

57

子どもの頃に始めた習いごとのプロになるって、みんなも憧れるよね。津軽三味線奏者として、仙台を拠点に国内外で活躍する小田島旺響さんはその一人。どんな子ども時代を過ごしたんだろう。

津軽三味線に出会ったのは小学6年生の頃です。津軽三味線の全国大会で優勝した仙台市の小学生の新聞記事を母から見せてもらい、習うことになりました。着物や日本舞踊といった和を感じるものが好きだったの

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

仲間との演奏続ける力に

島流は、新聞記事で知った浅野祥さんのようなス



も逃げ回っていたから

三味線のバチを忘れてス

思っています。

で、母も興味を持つと思

ターや、大会で優勝する

と国内外のステージに立

の子どもたちに味わって

「あなたの演奏を聞きたい」と言われるのを励みに、津軽三味線を続けてきました。自信がないこと、やりたくないことでも、自分を信じて挑戦するのは大事だと感じています。

い。

人前に出るのが苦手だ

と決めました。



おだしま・おうきょう 1988年生まれ。津軽三味線三絃小田島流師範。2024年津軽三味線世界大会唄付伴奏A級など優勝歴多数。織江響（おりえびびき）の名でも演奏活動をしている。仙台市出身。

小田島 旺響さん(36歳・津軽三味線奏者)



ページに立ったこともありませ。演奏中に三味線の弦を調整する糸巻きという部品が全部、床に落ちて音がなくなりました。体中から汗が噴き出しました。

今週の注目ニュース

◇2日(日) 節分

病気や災害を鬼に見立て、豆をまいて追い払う行事です。最近では恵方巻きを食べるのも人気ですね。今年の恵方は西南西です。地球と太陽の動きによって日付が変わり、今年は例年より1日早くなります。

きょうの紙面

- 2面 作って遊んでサイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 備えのコンパス